

**日本環境安全事業株式会社入札監視委員会  
(平成18年度第1回委員会) 議事概要**

開催日及び場所	平成19年2月14日(水) 日本環境安全事業(株)B会議室	
委員	委員長 安原 正 (前(株)サンシャインシティ代表取締役会長) 委員 菅野 雄 (流通経済大学法学部教授) 藤原 正弘 ((財)水道技術研究センター理事長)	
審議対象期間	平成18年1月1日～平成18年12月31日	
工事抽出案件	総件数 2件	(備考) ○随契1件は一般競争の発注手続きを2度行ったがいずれも不成立だったため、随意契約となった案件
一般競争	0件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
継続契約	1件	
運転業務抽出案件	総件数 1件	(備考)
一般競争	1件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

問い合わせ先

東京都港区芝1-7-17住友不動産芝ビル3号館4F

日本環境安全事業株式会社管理部

契約・購買課長 齋藤 章

TEL 03-5765-1915

	意見・質問	回答
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答</p>	<p>1. 抽出案件の審議            (1) 随意契約  <b>【北九州PCB廃棄物処理施設(第2期)設置工事(設計業務)】</b>            ○設計と施工を分離契約して、性能保証はどのように求めるのか。</p> <p>(2) 継続契約  <b>【北海道PCB廃棄物処理施設(施工業務)】</b>            ○施工業務が継続契約とはどういうことか。</p> <p>(3) 一般競争入札  <b>【北海道PCB廃棄物処理施設運転業務(平成18・19年度)】</b>            ○運転委託先とプラント施工者の関係は。又、次年度以降の選定はどうするのか。</p>	<p>○ 設計施工一括発注であり、性能保証は設計責任・施工責任を分離して訴求しない。契約の分割は予算の制度によるもの。            - 性能保証は一体でとらせる。</p> <p>○ 一般競争入札により設計施工一括発注したもので、予算制度上、設計と施工を分割した。その結果落札した者と設計契約を行い、継続してその者と施工契約を随契で行った。</p> <p>○ 運転委託先は「当該プラントの技術ノウハウを使用できる」等の能力を選考要件としている応募者を選定したもの。本契約者はプラント施工者(JV)と資本及び人的関係を有する者であった。次年度以降については、業務評価を行った上で随契としている。</p>

## 日本環境安全事業株式会社入札監視委員会 (平成18年度第1回委員会) 議事概要

日本環境安全事業株式会社入札監視委員会の平成18年度第1回委員会が、去る2月14日、日本環境安全事業株式会社本社において開催されましたので、議事の概要についてお知らせいたします。

(参 考)

日本環境安全事業株式会社入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年法律第127号)の趣旨を踏まえ設置された第三者機関です。

同委員会の任務は、下記のとおりです。

- ① 当社が発注したPCB廃棄物処理事業に係る工事に関し、入札・契約手続の運用状況について報告を受けること。
- ② 当該工事の中から委員会が無作為に抽出した工事について、一般競争参加資格の設定の理由及び経緯または指名競争入札に係る指名の理由及び経過等について審議し、不適切な点または改善すべき点があると認めた場合に、当社の社長に対して意見の具申を行うこと。
- ③ 公募型及び通常指名競争入札並びに随意契約における入札・契約手続に係る再苦情処理を行うこと。

問い合わせ先

東京都港区芝1-7-17住友不動産芝ビル3号館4F

日本環境安全事業株式会社管理部

入札監視委員会事務局

契約・購買課長 斎藤 章

TEL 03-5765-1915

以上